

入局挨拶

初めまして、医師3年目（入局1年目）の小澤俊貴と申します。この場をお借りしまして、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は山梨県出身で甲府第一高等学校卒業後、北里大学薬学部に入學し、薬剤師として2年働いた後に群馬大学医学部へ編入しました。大学卒業後は利根中央病院で2年間初期研修を行い、2023年4月から群馬大学附属病院へ入職しました。

元々は放射線治療科への入局を考えておらず、ポリクリで選択実習もとっていませんでしたが、不思議な縁で見学し、今に至ります。入局を決めたきっかけとしては、治療計画の面白さ、腫瘍への興味、放射線治療の将来性など様々なポイントがありましたが、やはり見学時や研修時の雰囲気を感じ取ったことが大きかったように思います。

また、様々なチャンスがある医局であり、今年度の6月にはマドリードでの学会にも参加させていただく予定です。初の海外学会参加ですが、上の先生方やスタッフのサポートもあり、準備は順調に進んでおります。

群馬大学附属病院で青チーム（婦人科・食道・脳）に所属し2ヶ月ほど経過しましたが、システム・業務内容共によりやく慣れ始めてきたところです。特に人事異動などでメンバーが変更したばかり中での業務だったため、忙しい日々が続きました。それでも今日まで業務をこなせたのは、多くの方々の支援のおかげです。大野教授をはじめ大学医局員の先生方、秘書の方々、病棟・外来・重粒子線センターに勤務されているスタッフの皆様、その他関係者の皆様の支えには感謝しております。

放射線治療科の良い点は、仕事の on, off の切り替えがしっかりしている点です。休日当番などを除いて土日祝日は原則休みとなっており、呼び出しもないため、しっかり休んでリフレッシュすることができます。

私の趣味は謎解きで、リアル脱出ゲームにハマっており、今度の連休にも友人と遠征をしようかと密かに計画中です。なかなか遠征のできないときは、自宅でできるキットタイプの謎解きなどをしてリフレッシュしております。また、アウトドアレジャーも趣味であり、以前に行っていたバンジーやSUPなどのアクティビティに再挑戦するのが今年度の密かな目標です。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。放射線治療科でお待ちしています。



自宅で解けるキットタイプの謎解きです。最近は毎週のようにやっています。



バンジー挑戦前。まだ余裕の表情をしている。